

# 「体づくり運動」授業づくり研究 実践報告

～大学生とともにつくる体育学習の試み～

お茶の水女子大学附属小学校

栗原知子

- I. 研究の経緯
  1. 「体づくり運動」の重要性
  2. 授業サポーターの可能性
- II. 実践研究の概要
  1. 研究目的
  2. 研究の方法
    - (1) 期間
    - (2) 対象
    - (3) 授業の概要
    - (4) 授業の記録
- III. 実践内容
  1. 授業の実際
  2. 各ファミリーの作品
  3. 「なわとび先生」の関わり
  4. 授業記録の分析と考察
    - (1) VTR
    - (2) ICレコーダー
    - (3) 学習カード
    - (4) 歩数計
- IV. 成果と課題
- V. 参考・引用文献
- VI. 謝辞

## I 研究の経緯

### 1. 「体づくり運動」の重要性 ～新学習指導要領の提言より

小学校の低学年・中学年においては、脳・神経系が急激に発達するため、この時期は、見る、聞く、触れて感じるなど様々な感覚を働かせたり、手や足をはじめとする多くの運動器官を動かしたりしながら、体のバランスをとって運動すること、いろいろな方向に移動すること、用具などの動きにタイミングよく反応すること、力の人れ具合を調整することなど基本的な動きを習得することに適しているとされている。しかし、近年、加速度的に進んでいる少子化、あるいは都市化にともなう遊び場の削減、コンピュータゲームの発達などの要因によって、子どもたちの遊びや生活習慣は大きく変化している。運動遊びが減ったり、日常生活が便利になったりしたことにより、体を動かす機会だけでなく、経験する動きの種類も減少している。

このような現状から、平成23年度から全面実施の新学習指導要領では、『体づくり運動』については、一層の充実が必要であることから、すべての学年において発達の段階に応じた指導内容を取り上げ指導するものとし、学習したことを家庭などで生かすことができるよう指導の在り方を改善する。」とされ、全学年で扱うこととされた。また、小学校低学年・中学年のうちに「体づくり運動以外の各領域において扱いにくい様々な基本的な動きを培う」ことをねらいとして「体づくり運動」の内容に「多様な動きをつくる運動（遊び）」が位置づけられている。

さらに、「用具を操作する運動遊び」として、「用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができるようにする。」が取り上げられている。用具としては、ボール、なわとび、竹馬、輪などがあげられている。これらの用具は身近にある用具であり、学習によって跳ぶ回数や技の習得といった進歩の度合いを子ども自身も実感しやすいという特徴があるが、扱い方によっては偏った動きに終わってしまったり、単調な練習のくり返しになってしまうこともある。

このように一見簡単そうであるが、子どもたちにとって重要で多くの可能性を持つ「体づくり運動」が、単純な動きのくり返しに終わることなく、楽しく動き続けられる学習となるように可能性を探ることは重要と考えられた。

### 2. 授業サポーターの可能性 ～大学生とともに作る授業の機会を得て

本校の平成20年度からの研究テーマ「小学校における『公共性』を育む『シチズンシップ教育』～友だちと自分の違いを排除せずに、理解し考える力を発揮する～」に基づき、からだ部では、学習における「関わりあい」について継続して研究してきている。

子ども同士の関わりあいはもとより、子どもと教師、そして近年話題にのぼる外部指導者との関わりも興味ある研究テーマの一つである。特に体育の授業サポーターについては、その導入の試みも地域によっては始まっており、本校でも導入の可能性を探ることは意味のあることと考えた。

新しい授業内容の開発、具現化及び実践、そして普及に至っては一朝一夕になるものではないという長期的展望の上に、東海大学の中村なおみ先生との共同研究の機会を得て、今回、学生とともに「関わりあい」を深める「体づくり運動」の授業内容の検討と実践に取り組み始めることができた。ここでは第1段階として学生とともに授業内容を検討し、授業サポーターとして、学生が学習場面でグループに関わる方法で実践を行うこととした。学生が子どもたちに関わることによる学習自体への効果、さらに子どもたち同士の関係の深まりについても実践を通して検討できると考えている。今後の見通しとして、サポーターの有無による違いも含め、より有効な学習展開の方法、初任の教員が一人でも取り組める方法についても検討を重ね、一般化を図っていきたい。

一方、教職を志す学生にとって、教育実習の期間はあまりにも短く、多様化する子どもたちの実態への対応経験も学ぶ機会是非常に少ないと言える。サポーターは直接子どもと関わり、身近なところから指導をする立場である。いつ、何を、どのように指導するのが効果的か、現場の経験を少しでも効率的に伝える場ともなれば、その意義は大きいと考えた。

## Ⅱ 実践研究の概要

### 1. 研究目的

研究の経緯で述べた理由により、本研究の目的を

1. 児童が関わりあいながら、楽しくなわ跳び（体づくり運動）に親しめる授業作りを実践する。
2. 学生サポーターが関わることによる学習の効果とその分析方法について検討する。

とした。あくまでも実践ありきで、実践の分析をもとに考察していきたい。

### 2. 研究の方法

#### (1) 期間

2009年（平成21年）2月5日・10日・16日・20日（公開研究会）・23日 計5回

#### (2) 対象

お茶の水女子大学附属小学校 2年1組（男子20名 女子20名 計40名）

東海大学体育学部体育学科中村研究室学生（3年：男子6名・女子4名，2年：男子10名・女子5名）

#### (3) 授業の概要

##### 1) 対象授業

「からだ」の時間（体育） 1単位時間40分 5時間扱い

##### 2) 学習内容

テーマ「リズムなわとび ～ポニョで楽しく！～」（体づくり運動）

##### 3) 学習計画

- ① 2月5日（木） 1：20～2：00 なわとび先生と顔合わせ「よろしくお願ひします」  
バナナ鬼をしよう（やり方を教えてあげよう）  
見本の跳び方を見せてもらおう  
（何を学習するのかな？）  
みんなの得意な跳び方を見せてあげよう
- ② 2月10日（火） 10：50～11：30 一人跳びの技を練習しよう  
みんなでシンクロ跳びを決めよう  
仲間跳びをいろいろ試してみよう
- ③ 2月16日（月） 1：20～2：00 仲間跳びを決めよう 何回も練習しよう  
シンクロ跳びをしっかり練習しよう
- ④ 2月20日（金） 9：00～9：40 シンクロ跳び，一人跳び，仲間跳びを通してみよう
- ⑤ 2月23日（月） 1：20～2：00 発表会を開こう

##### 4) 教材の概要

なわとびパフォーマンスを作るために、児童になじみがあり、なわとびで跳びやすいテンポを持つ曲を探し、最終的に一曲を選んだ。（「崖の上のポニョ」）

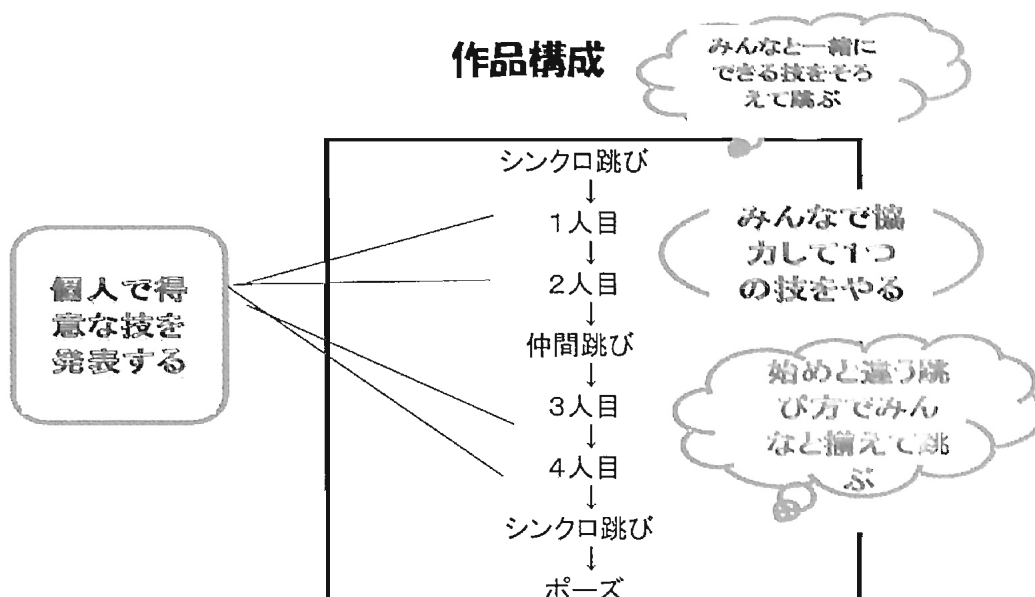
大きく3つのパートを作り、ファミリー（4人組）のメンバーで関わりながら一曲跳び続けられるよう構成した。曲の長さは約2分40秒である。

1つめのパートは「シンクロとび」。ファミリー全員で同じ跳び方でリズムも合わせて跳ぶことを大事にする場面。

2つめは「ひとりとび」。一人一人が自分の得意な跳び方で存分に跳ぶ場面。後のメンバーは周りで応援したり、ひとりとびを引き立てる動きをする。

3つめは「仲間跳び」。メンバーみんながいないとできない跳び方を工夫する場面。それぞれのファミリーで相談して順番を決めたり、跳び方を考えたりと関わりも求められる。そして最後にファミリー毎のポーズをしっかりと決めて終了。以下に構成の概要を簡単に図で示す。

## リズムなわとび～ポニョで楽しく



### 5) 児童の活動形態と学生の関わり

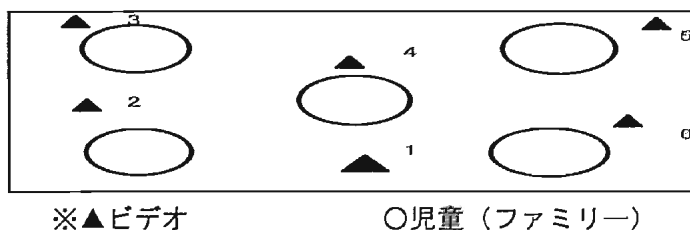
児童の活動の単位は「ファミリー」と呼ばれる4人組が基本となる。これは教室での席順とも連動するいわゆる生活班である。対象クラスは児童数が40名のため、ファミリーの数は10。頭に数字をつけて「1ファミリー」のように呼び、10ファミリーまでである。今回は2つのファミリーが同じ場所で活動し、1～2名の「なわとび先生」(学生)がつくという形で学習を進めた。

### (4) 授業の記録

実践の分析のために、学生による記録及びデータの収録を行った。ここに概要を示す。なお、この記録及びデータは純粋に授業分析のためにのみ使用することを明記しておく。

#### 1) VTRによる撮影

ビデオカメラ6台を用いて毎時間、授業を撮影した。カメラ1は教師の行動を撮影し、カメラ2～5はファミリーごとに児童の様子と「なわとび先生」(学生)の様子を撮影した。下図の○は2つのファミリーが活動している場所を表しており、児童8名と「なわとび先生」の活動を1台のカメラで撮影しているということになる。



#### 2) ICレコーダーによる収録

なわとび先生が装着し、発問の収録を行った。

## 3) 歩数の測定（歩数計）

授業のはじめに児童が自分で歩数計を付けて運動を行った。授業後に「なわとび先生」が回収し、回数を記録するという方法を定着させた。

## 4) 学習カード

児童が学習を振り返るためのカード。形成的授業評価も行えるよう、項目の文言をやや易しくし、3段階の評価ができるようにした。授業後に児童が記入する時間を別にとった。

## Ⅲ. 実践内容

## 1. 授業の実際

5回の授業の流れを簡単にまとめる。表は教師が作成した学習活動に、学生が自らの立場でサポートの留意点を加えて作成したものである。

## (1) 第1回（2月5日）

交流授業初日である。児童と学生がお互いに関わりあいながら、一緒に学習していくための下地作りをしていった。

始めに教師が児童とファミリー、そしてなわとび先生の紹介をし、これからの授業のやり方を簡単に説明する。お兄さんお姉さんが来てくれただけで大喜びの子どもたちは、さらに万歩計をつけるとあつ

| 日付  | 2月5日  |  |
|-----|---|--|
| 本時  | なわとび先生と顔合わせ   |  |
|     | 学習活動  | なわとび先生のサポート  |
| 0分  | 挨拶<br>①担当ファミリーの紹介<br>②授業の流れを説明<br>③万歩計装着の説明、装着<br>準備体操<br>バナナ鬼                | ・授業前に機材の確認・設置をする。<br>・児童が並んでいる後ろに立つ。<br>・自己紹介をする。<br>・各ファミリーに配布し装着を手伝う。<br>・ビデオ撮影者も一緒に混ざる。 |
| 10分 | 《円になって一緒にとぼう!》<br>なわとび先生の跳び方を真似る  | ・難しいものをしばらく繰り返してみんなでそろえるようにする。   |
| 20分 | 《中心のリーダーを順番に交代しよう!》<br>①リーダーになる順番を決める<br>②リーダー決め順番にとぶ                         | ・順番きめは子供に任す。<br>・グループの活動の中に入って一緒に楽しい雰囲気で行う。  |
| 30分 | 《これからどんなことをやるのかな? なわとび先生の作品を見てみよう!》<br>なわとび先生の発表<br><br>《もう一度、シンクロとびをやってみよう!》 | ・当時2年生チームと3年生チームで1曲分練習しておいたものを発表する。  |
| 40分 | 挨拶、万歩計の回収   | ・児童から万歩計を回収する。   |

と興奮が収まらない。まずは子どもたちがリーダーになる場として「バナナ鬼\*」のルールを説明させ、学生たちも子どもたちと同じ運動帽をかぶって参加することで両者の距離を縮めるよう図った。次に、主運動である「なわとび」の学習に入り、学生がファミリーと一緒に跳ぶことで児童の意欲付けも図った。学生はこの日のために児童が思いつけないような技を練習してきており、児童の前で見せることで目標の視覚化や次回への期待感にもつなげられた。学生にとっては緊張する場面でもあったが、児童と一緒に楽しい雰囲気になわとびをしていこうと覚悟する場にもなったようである。

(2) 第2回(2月10日)

第2回日は、リズムなわとびの流れを体でつかませることをねらいとした(「ひと流れを覚えよう」)。3つのパートそれぞれを少しずつ練習(分習)していく時間である。

前回と同じように教師が全体の授業の流れを説明し、「なわとび先生」と一緒に鬼ごっこ(今回は「手つなぎ鬼」)をする。心も体もほぐれたところでファミリーに分かれ、「なわとび先生」との学習に入る。全体の指示は教師が出し、グループ毎の指導はできるだけ「なわとび先生」にまかせるようにした。学生たちが授業資料として「なわとびカード」(いろいろな跳び方の絵のカード)を作成し、子どもたちのアドバイスに役立てられるようにした。

- ① <シンクロとびを決めよう!>ファミリーの一人一人がリーダーになり、みんなでそろえて跳べそうなとび方を提案する。みんなで真似してみる。どんどんリーダーを交代。
- ② <ひとりとびを練習しよう!>一人一人が自分の得意なとび方を練習しのばす時間。友だちや「なわとび先生」との交流も大切に。

| 日付  | 2月10日  |   |
|-----|--|---|
| 本時  | ひと流れを覚えよう  |   |
|     | 学習活動   | なわとび先生のサポート   |
| 0分  | 挨拶<br>①授業の流れを説明<br>②万歩計の装着<br>準備体操<br>手つなぎ鬼                        | ・授業前に機材の確認・設置をする。<br>・児童が並んでいる後ろに立つ。<br>・各ファミリーに配布し装着を手伝う。<br><br>・ビデオ撮影者も一緒に混ざる。   |
| 10分 | 《シンクロとびを決めよう!<br>リーダーのまねっこしよう!》<br>①リーダーになる順番を決める<br>②リーダーのとび方を真似る | ・なわとびカードを見て何跳びをしようか、少しだけ考える。<br>・一緒に楽しい雰囲気で行い、一体感を感じさせる。<br>(例:みんながそろいそらなとび方を続けてみてね。〇〇さんがリーダーだよ、あわせてみようね。みんながそろうように声かけてみようか?) |
| 20分 | 《ひとりとびを練習しよう!》<br>一番得意な技、やって見たい技を練習する                              | ・児童のやってみたい技の希望を聞きながら、跳んでいるところをよく見てアドバイスをする。<br>・何をやるか困っている児童にはカードを使ってどんな跳び方をしたいのか問う。<br>(例:体をまっすぐにしてとんでごらん。腕をあまり広げない方がいいよなど。) |
| 30分 | 《なかまとびをやってみよう!》<br>みんなが協力しないと出来ないとび方を考える                           | ・ファミリーの児童に問いかけ、前回の見本やカードの中からやってみたいものを実際にやってみる。いくつかやって、子どもの意見も聞いてみる。<br>・(例:やってみよう!率先して縄をまわしたり中に入って一緒にやってみる)                   |
| 40分 | 集合、整理運動<br>挨拶、万歩計の回収   | ・児童から万歩計を回収する。  |

③ <なかまとびをやってみよう！>ファミリーで相談しながらオリジナルのとび方を作って遊ぶ場面。児童の意見をまとめながら新しい動きを引き出していく「なわとび先生」の声かけもポイントとなる。前回「なわとび先生」としての立場が曖昧（指導者ではなくお兄さん・お姉さん、教師の指示待ちで受け身的）だったと感じている学生も多く、指導者としての行動について事前にアドバイスをした。

### (3) 第3回（2月16日）

前回のパート毎の練習を受け、復習もかねてそれぞれのパートの練習（分習）をした後に全体を通して（全習）一曲とび続けるのが今回の学習のねらいである。曲のリズムを感じながら、気持ちよくとべるように子どもたちに働きかけた。

特に仲間とびで、みんなのできることの可能性を広げてやること、シンクロとびでみんなで合わせることの心地よさを感じることに重きを置きながら、学習を進めた。

| 日付  | 2月16日  |   |
|-----|--|---|
| 本時  | 通してみよう   |   |
|     | 学習活動   | なわとび先生のサポート   |
| 0分  | 挨拶<br>①授業の流れを説明<br>②万歩計の装着<br><br>準備体操<br>《のりのリタイム！なわも使ってリーダーに続け！》<br>①リーダーになる順番を決める<br>②リーダーの動きを真似る | ・授業前に機材の確認・設置をする。<br>・児童が並んでいる後ろに立つ。<br>・各ファミリーに配布し装着を手伝う。                                  |
| 10分 | 《どきどきタイム！シンクロとびを決定しよう！》<br>考えたとび方を練習する   | ・一緒に楽しい雰囲気で行い、一体感を感じさせる。<br>・声のかけ方（トーン、はやさ、アクション）を心がける。<br>・なわとびカードを陣地（なわとびを置く場所）に広げて置いておく。 |
| 20分 | 《わいわいタイム！<br>なかまとびをいろいろためそう！》<br>みんなが協力しないと出来ないとび方を考える   | ・児童の意見を取り入れながら少しリードして実際にやってみるようになる。<br>・前回やった技はどうだったか、または、なわとびカード活用する。                      |
| 30分 | 《なかまとびを練習しよう！》<br>みんなで協力して練習する<br><br>《一度、通してみよう！》<br>曲に合わせてとんでみる                                    | ・全体を見る目、個人を見る目を心がける。<br><br>・音に合わせて時は、次に何をするか少し早めに言ってあげる。                                   |
| 40分 | 集合、整理運動<br>挨拶、万歩計の回収   | ・児童から万歩計を回収する。  |

学生は児童との関わりに慣れてきた一方、自分が担当するファミリーにだけ気をとられ、教師からの全体の指示が通らなくなる傾向が見られてきた。全体とグループ指導の関わりバランスをとるよう指導。

(4) 第4回(2月20日)

第4回の授業は、教育実践指導研究会(公開研究会)の当日に行い、多くの先生方に見ていただいた。「なわとび先生」は直接関わらず周辺からの応援の予定にしていたが、当日指導者の体調不良のため、グループへの関わりを依頼し、子どもたちの安定を図った。

今日是一曲を通してとび続けること、ペアになっているファミリーとお互いに見合うことで、互いの良さを認めあうことをポイントとした。子どもたちは、まだ自分でとぶ方を楽しんでいる段階であったが、友だちのとび方を見るという意識づけもすることができた。

| 日付  | 2月20日  |  |
|-----|--|--|
| 本時  | 友達といっしょに 公開授業)   |  |
|     | 学習活動   | なわとび先生のサポート  |
| 0分  | 挨拶<br>①授業の流れを説明<br>②万歩計の装着<br>準備体操<br>《のりのリタイム! なわも使ってリーダーに続け!》<br>①リーダーになる順番を決める<br>②リーダーの動きを真似る  | ・授業前に機材の確認・設置をする。<br>・児童が並んでいる後ろに立つ。<br>・各ファミリーに配布し装着を手伝う。   |
| 10分 | 《はっけんタイム~こんなあり<br>「なかまとび」いいとこみつけてやってみよう!》<br>①ファミリーで一曲分いろんな《なかまとび》を<br>思い出し練習する<br>②ペアファミリーで見せ合う<br>奇数ファミリー →いいところを言ってあげる<br>③ペアファミリーで見せ合う<br>偶数ファミリー →いいところを言ってあげる<br>④いいとこみつけてやってみよう | ・1)の思い出し、練習は1曲かけるので、やったものを思い出したり、新しいことやったりして、お試しの時間にする。その中から発表する。(組直し役はやってあげていい。)<br>・2)の見せ合いでは、2回目のポ〜ニョポニョ...まで、音をかける。<br>・やったものをいろいろみせてもらう。<br>(先生と一緒に動くというより、できれば声かけで動いたらいい。) |
| 20分 | 《かがやくタイム~曲にあわせて続けよう~<br>ポーズも決めてかっこよく!》<br>2、3回曲を流し、通す  |  |
| 30分 |  | ・動きの変わり目の少し前に声かけを<br>・赤カード(シンクロとび)<br>・黄カード(ひとりとび)<br>・青カード(仲間とび)<br>これらのカードを活用する。<br>・しっかり指示を聞いて、サポートする。  |
| 40分 | 集合、整理運動<br>挨拶、万歩計の回収   | ・児童から万歩計を回収する。   |

(5) 第5回(2月23日)「発表会を開こう」

最終回の5回目は、通し練習の後、5ファミリーずつ発表をして、まとめとした。「なわとび先生」との学習も最後なので、一緒に遊ぶ時間もとり、名残を惜しむ子どもたちの姿が見られた。学生たちにも充実感が見られていた。



2. 各ファミリーの作品

各ファミリーで最終的に完成した「リズムなわとび」の流れと様子を次に簡単に示す。

| 1ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | 後二重あやとび    |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | 大綱         |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | 駆け足あやとび    |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | 後駆け足あやとび   |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | 後駆け足とび     |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |



| 2ファミリー |               |
|--------|---------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成    |
| シンクロとび | 円になって駆け足跳びで回る |
| ↓      | ↓             |
| 1人目    | 二重とび          |
| ↓      | ↓             |
| 2人目    | あや二重          |
| ↓      | ↓             |
| 仲間とび   | グルグルとび        |
| ↓      | ↓             |
| 3人目    | あや二重とび        |
| ↓      | ↓             |
| 4人目    | 前跳びグルグル回る     |
| ↓      | ↓             |
| シンクロとび | 前跳びグルグル回る     |
| ↓      | ↓             |
| ポーズ    | ポーズ           |

| 3ファミリー |                 |
|--------|-----------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成      |
| シンクロとび | あや跳び            |
| ↓      | ↓               |
| 1人目    | 後二重とび           |
| ↓      | ↓               |
| 2人目    | 片足二重とび          |
| ↓      | ↓               |
| 仲間とび   | 二人とび<br>(順番にとぶ) |
| ↓      | ↓               |
| 3人目    | 交差とび            |
| ↓      | ↓               |
| 4人目    | あやとび            |
| ↓      | ↓               |
| シンクロとび | 二重とび            |
| ↓      | ↓               |
| ポーズ    | ポーズ             |



| 4ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | 片足交差とび     |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | グルグルとび     |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | あやとび       |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | 交差とび       |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |

| 5ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | 前とび        |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | 駆け足とび      |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | 前跳び        |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | 上でクルクル     |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | 片足あやとび     |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | 前後に前とび     |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |



| 7ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | 駆け足とび      |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | あや跳び       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | グルグルとび     |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |



| 6ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | ケンケン跳び     |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | あや跳び       |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | 二人とび       |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | ケンケンとび     |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | グルグルとび     |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |



| 8ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | 駆け足とび      |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | 交差とび       |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | 二人とび       |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | 後あやとび      |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | 駆け足とび(前後)  |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |



| 9ファミリー |            |
|--------|------------|
| 演技構成   | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび | 前跳び        |
| ↓      | ↓          |
| 1人目    | 二重とび       |
| ↓      | ↓          |
| 2人目    | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| 仲間とび   | 二人とび       |
| ↓      | ↓          |
| 3人目    | 前とび        |
| ↓      | ↓          |
| 4人目    | 返しとび       |
| ↓      | ↓          |
| シンクロとび | グーパーとび     |
| ↓      | ↓          |
| ポーズ    | ポーズ        |



| 10ファミリー |            |
|---------|------------|
| 演技構成    | ファミリーの演技構成 |
| シンクロとび  | 前とびで回る     |
| ↓       | ↓          |
| 1人目     | あやとび<br>+  |
| ↓       | ↓          |
| 2人目     | 二重とび<br>+  |
| ↓       | ↓          |
| 仲間とび    | 大縄         |
| ↓       | ↓          |
| 3人目     | 交差とび       |
| ↓       | ↓          |
| 4人目     | 二重とび       |
| ↓       | ↓          |
| シンクロとび  | 前とびで回る     |
| ↓       | ↓          |
| ポーズ     | ポーズ        |

### 3. 「なわとび先生」の関わり

#### (1) 学生への指導と準備

##### 1) 授業前の打ち合わせ

今回参加した学生たちは、ほとんどがこのような交流学习への参加が始めての体育学部2・3年生である。児童との活動に興味を持ち、中学・高校の教員を目指すものも含まれるが、小学生との関わりの経験は少ないようだった。

そこで、学生に授業や子どもたちとの関わりについて少しでもイメージを持ってもらうため、大学教員との間で事前に綿密な打ち合わせを行った。

具体的には、小学校での児童の活動形態やルールについての共通理解として

- ・4人組をファミリーと呼び、今回の活動単位であること。
- ・児童が今までのなわとび学習で学習した跳び方。 など

学生の呼び名は教師との違いも考慮して、子どもたちと考えた結果「なわとび先生」と決めた。

一方、大学側では、

- ・訪問校における礼儀（挨拶・服装・行動の仕方など）
- ・授業当日のタイムテーブル
- ・各グループの担当者や役割（児童のグループにつく学生、VTRで関わる学生、全体を見る学生）児童の安定を考慮し、ファミリーの「なわとび先生」はできるだけ固定。

等について指導し、学生も主体的に準備を進めた。以下が学生の役割分担一覧である。（学生が作成）

お茶の水女子大学附属小学校 交流授業 なわとび

| 日付  | ファミリー | 1         | 2         | 3          | 4          | 5         | 6       | 7         | 8         | 9 | 10 | 教師行動 | 授業見学 |
|-----|-------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|---------|-----------|-----------|---|----|------|------|
| 5日  | MP3   | 後藤香里・向高沙  | 内野麻子・木嶋要太 | 青木香葉子・八木美波 | 櫻井智彦・横山萌絵美 | 川合利通・高橋光政 |         |           |           |   |    |      |      |
|     | VTR   | 一瀬優希      | 松倉竜也      | 伊藤史乃       | 鈴木利一       | 赤崎大輔      | 中村なおみ先生 |           |           |   |    |      |      |
| 10日 | MP3   | 後藤香里・向高沙  | 内野麻子・赤崎大輔 | 青木香葉子・八木美波 | 櫻井智彦・横山萌絵美 | 川合利通・高橋光政 |         |           |           |   |    |      |      |
|     | VTR   | 一瀬優希      | 松倉竜也      | 坂田俊之       | 鈴木利一       | 細谷一貴      | 石井剛     | 黒澤亮・齋藤崇史  | 青山慎二・中坊恵太 |   |    |      |      |
| 16日 | MP3   | 大久保由香・向高沙 | 内野麻子・木嶋要太 | 青木香葉子・八木美波 | 櫻井智彦・横山萌絵美 | 川合利通・高橋光政 |         |           |           |   |    |      |      |
|     | VTR   | 一瀬優希      | 山中猛       | 坂田俊之       | 黒澤亮        | 伊藤史乃      | 中村なおみ先生 | 加藤雅友美・森智史 |           |   |    |      |      |
| 20日 | MP3   | 大久保由香・向高沙 | 内野麻子・木嶋要太 | 青木香葉子・八木美波 | 櫻井智彦・横山萌絵美 | 川合利通・高橋光政 |         |           |           |   |    |      |      |
|     | VTR   | 齋藤崇史      | 山中猛       | 坂田俊之       | 黒澤亮        | 赤崎大輔      | 中村なおみ先生 | 森智史       |           |   |    |      |      |
| 23日 | MP3   | 大久保由香・向高沙 | 内野麻子・木嶋要太 | 青木香葉子・後藤香里 | 櫻井智彦・横山萌絵美 | 川合利通・高橋光政 |         |           |           |   |    |      |      |
|     | VTR   | 一瀬優希      | 青山慎二      | 伊藤史乃       | 黒澤亮        | 細谷一貴      | 中村なおみ先生 | 加藤雅友美     |           |   |    |      |      |

学生への指導は主に大学教員を中心に行い、児童への指導及び授業の全体指導は小学校教員が中心となって行った。

##### 2) 授業後の振り返り

実際に子どもと関わる中で学生が感じたこと、サポーターとして必要なこと、言葉かけは適切だったかなどについて、大学教員を中心に学生と毎時間振り返り活動のポイントを洗い出していた。

現場の教員には共通理解が容易な内容も学生にとっては理解が難しく、その場での対応が難しい内容が捉えられた。

小学校側からも参加を試みたが、実際には時間的に厳しく、大学教員との連絡にとどまるが多かった。

## (2) 学生の子どものとらえ方

ファミリーについての「なわとび先生」の見た児童の印象や特徴をまとめたのが次の一覧である。

|         | 所見  |
|---------|---|
| 1ファミリー  | 女の子がリーダー的存在であった。スムーズに構成が決まり、テンポよく進む。女の子の方がレベルが高かったため、シンクロとびの技を決めるのに少し大変だった。 |
| 2ファミリー  | 男の子は動き回って意見を出し、女の子は立ち止まって意見を出す。個々のレベルアップが感じることができた。                         |
| 3ファミリー  | 女の子が引っ張っていくため、男の子はついていっていた。なわとびを跳べる子は先に進み、4人で合わせる気がないため、協調性がなかった。           |
| 4ファミリー  | 女の子が元気があり、男の子はおとなしい。4人とも積極的に取り組んでいて、アイデアを出しあっていた。                           |
| 5ファミリー  | リーダーシップをとる子はいない。個々で黙々と練習をし、技術レベルは高くないが、それぞれができる技をできる範囲で頑張っていた。              |
| 6ファミリー  | 4人が意見をしっかりとすることができ、男の子はみんなに声をかけまとめる。クラス全員の中でも、みんなのお手本になるための意識が人一倍強いグループ。    |
| 7ファミリー  | 一人落ち着いた男の子がいた。女の子は元気があり、比較的跳べるが、男の子は言う和高いレベルに挑戦する。                          |
| 8ファミリー  | 4人が高度な技に挑戦する意欲があった。順番を決めるとき、納得がいらず気を削いでしまったときもあった。女の子が全体を引っ張っていた。           |
| 9ファミリー  | 女の子がおとなしく、男の子はうるさい。一人男の子がリーダー的存在でみんなを引っ張っていた。                               |
| 10ファミリー | 全員が個人の役割を理解しているため指示を仰がすと、しっかり行動できる。   |

それぞれがファミリー毎の特徴をよく捉えているが、個々にとらえ方の微妙な差が感じられる。一人の子どもを見ても「うるさい」と感じる人もいれば「活発で元気がいい」と捉える人もいる。要は、その子にどのような指導が必要と見ていくかが問われるところであろう。

からだ（体育）は体を動かすことで、その子どもの意欲や動きの優劣などは比較的分かりやすい。関わりを促しなから指導していくことで、主体としての高まりも期待できると考える。ただ、それぞれのグループにどのような指導が有効かということはなかなか明らかにできないのが現状である。

それぞれのグループに関わった「なわとび先生」が自分たちの指導後どのような印象に変わっているのかも興味あるところである。学生の指導者としての高まりとともに今後の研究課題としていきたいところである。

## 4. 授業記録の分析と考察

## (1) VTR

収録した内容を元に学生が中心となり「授業の実際」及び子どもの「リズムなわとび」の作品概要をまとめた。(前掲)

## (2) ICレコーダー

## 1) 逐語記録

今回は「なわとび先生」の音声逐語記録にし、相互作用ととれる指導言語を5つの種類に分類して、活動者にどのような言葉をかけたのかを教師の相互作用行動の観察カテゴリーと定義を用い学生が分類している。(参考)

|        |  |
|--------|--|
| 直接的指導  | 全ての生徒を対象にして、教師から生徒に学習内容に関わった情報が伝達される行動。                        |
| マネジメント | 授業に関わった管理的行動を意味する。具体的には教師自身が準備・片付けを行う、出席をとる、隊列を作る、グルーピングを行うなど。 |
| 観察     | 生徒の学習行動や学習環境を観察する行動。一般的に「巡視」と言われている。                           |
| 相互作用※1 | 教師と生徒の間で情報交換がなされる行動。教師から一方的にはなく、教師と生徒の双方向的に情報が交わされる。           |

| 観察カテゴリー | 指導言語     |                 |
|---------|----------|-----------------|
| 発問      | 跳ぶ順番決めた？ |                 |
| 受理      | そうだね。    |                 |
| フィードバック |          |                 |
| 肯定的     | 一般的      | すごい、みんなに拍手。     |
|         | 具体例      | うまい、うまい。        |
| 矯正的     | 一般的      | もう少しだね。         |
|         | 具体例      | こうやったほうが跳びやすいよ。 |
| 否定的     | 一般的      | うるさい。           |
|         | 具体例      | 今は、それじゃないよ。     |
| 励まし     | いけいけ。    |                 |

※1 相互作用の観察カテゴリー

(3) 学習カード

2年生の児童が学習を振り返ることができるよう考案したが、一般的な評価との比較も可能な形をとった。やや項目数が多いので、軽減はしたが児童には負担も大きかったようである。

1) 形成的授業評価項目

カードの作成にあたっては、高橋ら(2003)<sup>2)</sup>によって作成された「形成的授業評価表」(下表)を参考に、2年生用に文言を易しくしたり、読み替えたりする操作を行った。

形成的授業評価9項目

|       |   |
|-------|---|
| 成果    | 問1、ふかく心に残ることや、感動することはありましたか。<br>問2、今まででできなかったことができるようになりましたか。<br>問3、「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」とおもったことがありましたか。 |
| 意欲・関心 | 問4、せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか。<br>問5、楽しかったですか。  |
| 学び方   | 問6、自分から進んで活動することができましたか。<br>問7、自分のめあてにむかって何回も練習できましたか。  |
| 協力    | 問8、友達と協力してなかよく活動できましたか。<br>問9、友達と互いに教えたり、助けたりしましたか。   |

児童が使用した学習カード

**リズムなわとび～「ポニョ」で楽しく!**

○月○日( )

○—○ ( )

色をぬろう!(よくできたよ:青 まあまあ:黄 もうちよつと:赤)  
たくさんれんしゅうしたよ 新しいわざを考えたよ 協力して作ったよ  
☆ ☆ ☆

みんなでそろえる<シンクロとび>けってい!

1回目

2回目

今日やってみたくななまどび>は、

今日はこれが楽しかったよ。

<活動をふりかえろう>

|                        |   |    |    |
|------------------------|---|----|----|
| 1. 心にのこるがあったよ。         | ◎ | ○  | △  |
| 2. できるようになったことがあったよ。   | ◎ | ○○ | △△ |
| 3. 「分かった!」と思ったことがあったよ。 | ◎ | ○○ | △△ |
| 4. 全力でうんどうしたよ。         | ◎ | ○○ | △△ |
| 5. 友だちに教えてあげたよ。        | ◎ | ○○ | △△ |
| 6. 先生が買ってくれたよ。         | ◎ | ○○ | △△ |

7. 友だちが買ってくれたよ。

比較して分かるように、今回使用したカードでは評価の記入場所を2箇所(赤丸)に分けてある。分

析に当たっては「◎・青色☆に3点,」「○・黄色☆に2点,」「△・赤色☆に1点」とし、項目としては以下のように対応させている。

- ・問1と活動をふりかえろう（以下、活動）1.
- ・問2と活動2.
- ・問3と活動3.
- ・問4と活動4.
- ・問5と「今日はこれが楽しかったよ」記入があれば◎
- ・問6と色をぬろう（以下、色）「新しい技を考えたよ」
- ・問7と色「たくさん練習したよ」
- ・問8と色「協力して作ったよ」
- ・問9と活動5.

## 2) 形成的授業評価の分析

今回の児童の回答を形成的授業評価の診断基準（下表）にあてはめ、一回答ごとに平均を出して結果を5段階評価し、学生が中心に分析を行った。なお、カードを用いたのは2回目以降の4回である。

今回の授業における児童の回答をまとめたものが下の表である。傾向として、授業を重ねるにつれて評価が上がるということはなく、全体を通して一番評価が高かったのは「意欲・関心」であった。

形成的授業評価の診断基準

| 次元        | 項目           | 評定        |           |           |           |           |
|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|           |              | 5         | 4         | 3         | 2         | 1         |
| 成果        | 1. 感動の体験     | 3.00~2.62 | 2.61~2.29 | 2.28~1.90 | 1.89~1.57 | 1.56~1.00 |
|           | 2. 技能の伸び     | 3.00~2.82 | 2.81~2.54 | 2.53~2.21 | 2.20~1.93 | 1.92~1.00 |
|           | 3. 新しい発見     | 3.00~2.85 | 2.84~2.59 | 2.28~2.58 | 2.27~2.20 | 2.01~1.00 |
|           | 次元の評価        | 3.00~2.70 | 2.69~2.45 | 2.44~2.15 | 2.14~1.91 | 1.90~1.00 |
| 意欲・関心     | 4. せいっぱいの運動  | 3.00      | 2.99~2.80 | 2.79~2.56 | 2.55~2.37 | 2.36~1.00 |
|           | 5. 楽しさの体験    | 3.00      | 2.99~2.85 | 2.84~2.26 | 2.59~2.39 | 2.38~1.00 |
|           | 次元の評価        | 3.00      | 2.99~2.81 | 2.80~2.59 | 2.58~2.41 | 2.40~1.00 |
| 学び方       | 6. 自主的学習     | 3.00~2.77 | 2.76~2.52 | 2.51~2.23 | 2.22~1.99 | 1.98~1.00 |
|           | 7. めあてを持った学習 | 3.00~2.94 | 2.93~2.65 | 2.64~2.31 | 2.30~2.03 | 2.02~1.00 |
|           | 次元の評価        | 3.00~2.81 | 2.80~2.57 | 2.56~2.29 | 2.28~2.05 | 2.04~1.00 |
| 協力        | 8. なかよく学習    | 3.00~2.92 | 2.91~2.71 | 2.70~2.46 | 2.45~2.25 | 2.24~1.00 |
|           | 9. 協力的学習     | 3.00~2.83 | 2.82~2.55 | 2.54~2.24 | 2.23~1.97 | 1.96~1.00 |
|           | 次元の評価        | 3.00~2.85 | 2.84~2.62 | 2.61~2.36 | 2.35~2.13 | 2.12~1.00 |
| 総合評価(総平均) |              | 3.00~2.77 | 2.76~2.58 | 2.57~2.34 | 2.33~2.15 | 2.14~1.00 |

形成的授業評価の結果

|       |       | 1ファミリー | 2ファミリー | 3ファミリー | 4ファミリー | 5ファミリー | 6ファミリー | 7ファミリー | 8ファミリー | 9ファミリー | 10ファミリー |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 2月10日 | 成果    | 2.3    | 2.8    | 2.6    | 2.6    | 2.2    | 2.4    | 2.7    | 2.8    | 2.6    | 2.8     |
|       | 意欲・関心 | 2.8    | 3      | 2.3    | 3      | 3      | 2.5    | 2.8    | 3      | 2.5    | 3       |
|       | 協力    | 2.9    | 2.8    | 2.4    | 2.6    | 2      | 2.6    | 2.4    | 2.8    | 2.8    | 2.3     |
|       | 学び方   | 2.1    | 3      | 2.8    | 2.8    | 2.5    | 2.1    | 2.8    | 2.8    | 2.6    | 2.5     |
|       | 平均    | 2.52   | 2.9    | 2.52   | 2.75   | 2.42   | 2.4    | 2.67   | 2.85   | 2.62   | 2.65    |
| 2月16日 | 成果    | 2.3    | 3      | 2.3    | 2.1    | 2.4    | 2.9    | 2.8    | 2.7    | 2.9    | 2.5     |
|       | 意欲・関心 | 3      | 3      | 2.3    | 3      | 2.8    | 3      | 2.8    | 3      | 2.5    | 3       |
|       | 協力    | 1.8    | 2.7    | 2      | 2.6    | 2      | 2.1    | 2.4    | 2.8    | 2.4    | 2.3     |
|       | 学び方   | 2.4    | 3      | 3      | 2.3    | 3      | 2.9    | 2.3    | 2.5    | 2.4    | 2.3     |
|       | 平均    | 2.37   | 2.92   | 2.4    | 2.5    | 2.55   | 2.72   | 2.57   | 2.75   | 2.55   | 2.52    |
| 2月20日 | 成果    | 2.3    | 2.8    | 2.3    | 2.3    | 2      | 2.3    | 2.4    | 2.8    | 2.8    | 2.5     |
|       | 意欲・関心 | 3      | 3      | 2.7    | 3      | 3      | 3      | 2.6    | 3      | 3      | 3       |
|       | 協力    | 2.2    | 2.8    | 2.3    | 2.2    | 1.8    | 2.6    | 2.6    | 2.8    | 2.6    | 2.1     |
|       | 学び方   | 2.1    | 3      | 2.3    | 2.5    | 2.6    | 2.3    | 2.8    | 2.8    | 2.5    | 2.7     |
|       | 平均    | 2.4    | 2.9    | 2.4    | 2.5    | 2.35   | 2.55   | 2.6    | 2.85   | 2.72   | 2.57    |
| 2月23日 | 成果    | 2.6    | 2.9    | 2.9    | 2.5    | 2.7    | 2.6    | 2.8    | 2.9    | 2.8    | 2.5     |
|       | 意欲・関心 | 2.5    | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 2.7    | 2.7    | 3      | 3       |
|       | 協力    | 2.3    | 2.5    | 2.5    | 2.6    | 2.2    | 2.5    | 2.7    | 2.8    | 2.6    | 2.1     |
|       | 学び方   | 2.3    | 2.7    | 2.3    | 2.2    | 2.6    | 1.8    | 3      | 2.6    | 2.6    | 2       |
|       | 平均    | 2.42   | 2.77   | 2.67   | 2.57   | 2.62   | 2.47   | 2.8    | 2.75   | 2.75   | 2.4     |

それぞれについて授業の流れを踏まえ、簡単に考察してみる

10日は、「なわとび先生」登場の2回目で、「意欲・関心」が全体的に高いことは考えられる。また、シンクロとび・一人とび・仲間とびの練習が本格的に始まり、全体的に「成果」「協力」「学び方」の数値が高かったと考えられる。

16日は、「協力」が他の項目と比べ若干数値が低い。一つの要因として、仲間とびの練習を中心にしたため、友だちと関わる場面が多く、逆に意見のすれ違いなどもあったと考えられる。

20日は、公開授業で独特の雰囲気の中での学習だったため、緊張もあったことなどから「成果」の数値が低めに出ているとも思える。

23日は、「なわとび先生」と遊ぶ時間も含まれたためか「意欲・関心」の数値が非常に高い。

ただ、この数値からそれぞれの傾向は捉えられるが、児童がこの質問内容をきちんと理解して回答しているかについては疑問も残る。データをどう生かすか今後の課題ともしたい。

### 3) 4日間の形成的授業評価の平均

下の表1は、形成的授業評価の各ファミリーの4日間の平均値を示したものである。図1・2はそれをグラフ化したもの。また、表1を形成的授業評価の診断基準で分析した結果を表2に示す。(参考)

表1 形成的授業評価（4日間の平均）

|         | 成果 | 意欲・関心 | 協力  | 学び方 |
|---------|----|-------|-----|-----|
| 1ファミリー  | 3  | 4     | 2   | 2   |
| 2ファミリー  | 5  | 5     | 4   | 5   |
| 3ファミリー  | 4  | 4     | 2   | 3   |
| 4ファミリー  | 3  | 5     | 3   | 3   |
| 5ファミリー  | 3  | 4     | 1   | 4   |
| 6ファミリー  | 4  | 4     | 3   | 2   |
| 7ファミリー  | 4  | 3     | 3   | 4   |
| 8ファミリー  | 5  | 4     | 4   | 4   |
| 9ファミリー  | 5  | 3     | 3   | 4   |
| 10ファミリー | 4  | 5     | 2   | 3   |
| 総合平均    | 4  | 4.1   | 2.7 | 3.4 |

表2 表形成的授業評価の診断基準での分析結果

|         | 成果   | 意欲・関心 | 協力   | 学び方  |
|---------|------|-------|------|------|
| 1ファミリー  | 2.37 | 2.82  | 2.3  | 2.22 |
| 2ファミリー  | 2.87 | 3     | 2.7  | 2.92 |
| 3ファミリー  | 2.52 | 2.57  | 2.3  | 2.6  |
| 4ファミリー  | 2.37 | 3     | 2.5  | 2.37 |
| 5ファミリー  | 2.32 | 2.95  | 2    | 2.72 |
| 6ファミリー  | 2.55 | 2.87  | 2.45 | 2.27 |
| 7ファミリー  | 2.67 | 2.72  | 2.52 | 2.72 |
| 8ファミリー  | 2.8  | 2.92  | 2.8  | 2.7  |
| 9ファミリー  | 2.77 | 2.75  | 2.6  | 2.57 |
| 10ファミリー | 2.57 | 3     | 2.2  | 2.37 |
| 総合平均    | 2.58 | 2.86  | 2.44 | 2.55 |

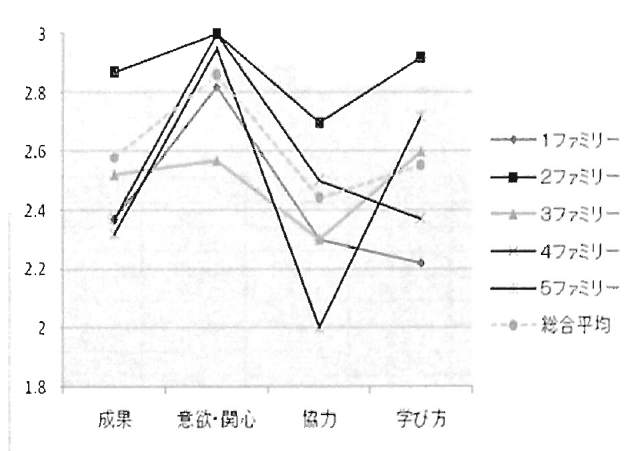


図1 1～5ファミリー

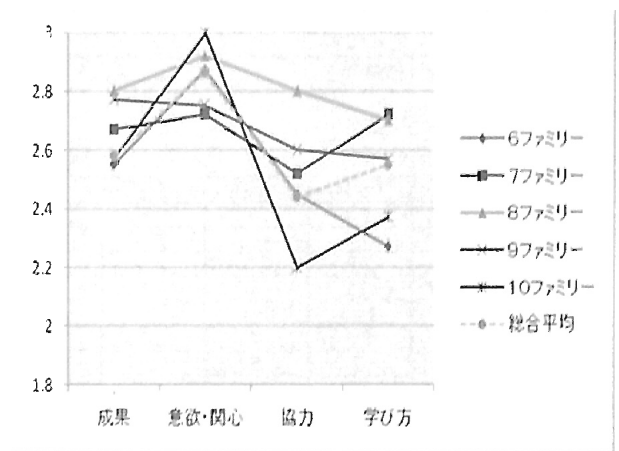


図2 6～10ファミリー

このグラフからはファミリーの傾向が見て取れる。

全体的傾向としては、どのファミリーでも「意欲・関心」の評価が高い。基本的に子どもたちは体を動かすことを好んでおり、どのファミリーにも極端に「やりたくない」と思っている子はいないようで



ある。

一方、「協力」についてはぼらつきが大きい。何をどうすれば「協力」になるのか、まだ子どもたちの意識もまとまっていないようである。指導する側としても、「こういうことが協力だね」と具体的に示していく必要があると思われる。加えて、その「協力」が快感情につながるよう導くことも重要であろう。

グループの傾向を見ることは、そのグループにどういう指導が必要なのかを考える指針になると思われる。ただ、データや数値に頼らずともグループの問題点を見とり、的確な一言を伝えるのが指導のコツと思うが、そこを学生に伝える難しさも実感している。

#### 4) 児童の感想・自由記述

児童一人ひとりの個人学習カードから感想と自由記述が読み取れる項目を、項目別にすべて抜き出し一覧にした結果が次の表である。(4日分) 記入項目は学習内容に合わせて変えている。

学習カード集計<2月10日>

##### ①みんなでそろえる<シンクロとび>は?

|             |    |
|-------------|----|
| ・二重とびでまわった。 | 13 |
| ・できた        | 7  |
| ・前とび        | 5  |
| ・片足とび       | 3  |
| ・返しとび       | 3  |
| ・そくしんとび     | 3  |
| ・駆け足とび      | 2  |
| ・後ろとび       | 2  |
| ・あやとび       | 1  |
| ・跳びながら回る    | 1  |

##### ②今日練習した<一人とび>は?

|           |   |
|-----------|---|
| ・はやぶさ     | 9 |
| ・返しとび     | 6 |
| ・二重とび     | 5 |
| ・後ろ二重とび   | 3 |
| ・二重交差とび   | 2 |
| ・片足あやとび   | 2 |
| ・できた      | 2 |
| ・そくしんとび   | 1 |
| ・片足交差とび   | 1 |
| ・駆け足とび    | 1 |
| ・ケンケンあやとび | 1 |
| ・片足とび     | 1 |
| ・あやとび     | 1 |
| ・交差とび     | 1 |
| ・後ろあやとび   | 1 |
| ・ケンケンとび   | 1 |
| ・前とび      | 1 |
| ・ブルートレイン  | 1 |

##### ③<なかまとび>のわざは?

|               |    |
|---------------|----|
| ・二人なわとび       | 13 |
| ・大綱           | 10 |
| ・まあまあ         | 5  |
| ・アップダウンとび     | 4  |
| ・グルグル交代とび     | 2  |
| ・クロスして一緒に跳ぶ   | 2  |
| ・しゃがみとび       | 1  |
| ・そろえとび        | 1  |
| ・みんなで前とび      | 1  |
| ・交差・返しとび(交互に) | 1  |

##### ④今日はこれが楽しかったよ。

|                |    |
|----------------|----|
| ・二人綱跳び         | 19 |
| ・二重とびで回る       | 3  |
| ・みんなで楽しくやれました。 | 2  |
| ・二重とび          | 2  |
| ・大綱            | 1  |
| ・なし            | 1  |
| ・駆け足とび         | 1  |
| ・グルグル交代とび      | 1  |
| ・一人とびができて楽しかった | 1  |
| ・ケンケンあやとび      | 1  |
| ・後ろ二重とび        | 1  |
| ・かえしとび         | 1  |
| ・はやぶさ          | 1  |
| ・ケンケン跳び        | 1  |
| ・あやとび          | 1  |
| ・三重とび          | 1  |
| ・シンクロ跳び        | 1  |

##### ⑤次はこれをやってみよう

|             |    |
|-------------|----|
| ・二重とび       | 17 |
| ・はやぶさ       | 7  |
| ・ごう車        | 2  |
| ・二重とびで回る    | 2  |
| ・シンクロとび     | 2  |
| ・大綱         | 2  |
| ・なし         | 1  |
| ・駆け足とび      | 1  |
| ・グルグル交代とび   | 1  |
| ・新しいのを作りたい  | 1  |
| ・ケンケン後ろあやとび | 1  |
| ・後ろ交差       | 1  |
| ・連続二重とび     | 1  |
| ・後ろ二重とび     | 1  |

##### ⑥先生が言ってくれたよ。

|                  |   |
|------------------|---|
| ・もうちょっとだね        | 8 |
| ・二重とび上手          | 4 |
| ・高く跳んで手を速く回して    | 4 |
| ・すごいね            | 3 |
| ・もっと工夫してみたら      | 2 |
| ・手に力を入れない        | 2 |
| ・がんばれ            | 2 |
| ・なし              | 1 |
| ・勇気をだして          | 1 |
| ・ハヤブサを上からやること    | 1 |
| ・上手だね            | 1 |
| ・もう少し柔らかく跳べるといいね | 1 |
| ・胸をしっかり交差するといいいよ | 1 |
| ・つま先で跳ぶ          | 1 |
| ・脇を絞めて           | 1 |
| ・手首で跳ぶといいいよ      | 1 |
| ・頑張ったね           | 1 |
| ・バラバラになって揃える     | 1 |
| ・もう少し遅く          | 1 |
| ・回転を速く           | 1 |
| ・もうすぐ            | 1 |

##### ⑦友達が言ってくれたよ。

|                  |    |
|------------------|----|
| ・上手だね            | 18 |
| ・がんばって           | 8  |
| ・もうちょっと          | 2  |
| ・背筋を伸ばす          | 2  |
| ・なし              | 2  |
| ・足を高く上げる         | 1  |
| ・一緒にやろうよ         | 1  |
| ・二重とびを続けて跳べるといいね | 1  |
| ・同じように           | 1  |
| ・二重とびはもっと手首を速く   | 1  |
| ・一緒に合わせられたね      | 1  |
| ・ちゃんと持って         | 1  |
| ・何も言ってくれなかった     | 1  |

個人学習カードの感想と自由記述の一覧

学習カード集計<2月16日>

①みんなでそろえる<シンクロとび>決定

|        |   |
|--------|---|
| 前ももあげ  | 9 |
| 二重とび   | 5 |
| まあまあ   | 4 |
| ケンケン跳び | 4 |
| 片足とび   | 4 |
| 返しとび   | 4 |
| 前跳び    | 4 |
| あや跳び   | 3 |
| しんしつ跳び | 3 |
| 左右かいへい | 1 |
| グーパーとび | 1 |
| 前跳びで回る | 1 |

②2回目

|        |    |
|--------|----|
| 前ももあげ  | 11 |
| 後廻り足   | 5  |
| できた    | 4  |
| 返しとび   | 4  |
| あや跳び   | 4  |
| 前跳び前後  | 4  |
| 二重とび   | 2  |
| 後に行く   | 2  |
| 大綱     | 1  |
| 前跳び    | 1  |
| 決まっていな | 1  |

③今日やってみたくなかまとびは?

|          |    |
|----------|----|
| 大綱       | 12 |
| できた      | 11 |
| アップダウンとび | 8  |
| 二人とび     | 3  |
| 二人高速とび   | 1  |
| 交差縄跳び    | 1  |
| 一人が縄を回す  | 1  |
| グックアップとび | 1  |
| 前後とび     | 1  |

④今日はこれが楽しかったよ。

|              |    |
|--------------|----|
| 大綱           | 18 |
| 仲間跳び         | 8  |
| ジャン          | 4  |
| 交互跳び         | 2  |
| いっぱいできて楽しかった | 2  |
| 前後跳び         | 2  |
| アップダウン       | 1  |
| 廻り足とび        | 1  |
| 一人跳び         | 1  |
| 下向き跳び        | 1  |
| 前跳び          | 1  |

⑤先生が言ってくれたよ

|                     |   |
|---------------------|---|
| おいしい                | 9 |
| 出来るようになったね          | 5 |
| いい考えだね              | 5 |
| 頑張ったね               | 3 |
| 上手だね                | 2 |
| 無し                  | 2 |
| 頑張ってたね              | 1 |
| もうちょっと早く            | 1 |
| 良くなってきたね            | 1 |
| みんなでそろえて跳ぶといいよ      | 1 |
| 次だよ                 | 1 |
| 頑張れ                 | 1 |
| それやってみて             | 1 |
| 凄い                  | 1 |
| ちゃんとビシバシやるよ         | 1 |
| 返しとびは左手後ろにしたら右手を通すよ | 1 |
| 低く回してみよう            | 1 |
| もう少ししかよって           | 1 |
| 全力で運動したよ            | 1 |

⑥友達と言ってくれたよ。

|                     |    |
|---------------------|----|
| ハヤブサが出来るんだ          | 18 |
| もうちょっと              | 3  |
| 跳ぶのが上手              | 2  |
| 二重とび上手              | 2  |
| 立つたね                | 1  |
| うまいね                | 1  |
| なし                  | 1  |
| みんなでそろえる            | 1  |
| アップダウンを引つかからないようにする | 1  |
| じょうずだね              | 1  |
| ちゃんとしろ              | 1  |
| がんばれ                | 1  |
| 二重とびは手首を速くまわす       | 1  |
| すごい                 | 1  |
| 何も言ってくれなかった         | 1  |
| 二重とびは高く跳ぶよ          | 1  |
| 上手になったね             | 1  |
| 大綱をやつたらいいね          | 1  |

学習カード集計<2月20日>

①「ほよぶよ」縄跳び続けて跳べたよ  
<一人跳び>は?

|                |    |
|----------------|----|
| ほよぶよ           | 10 |
| 二重とび           | 5  |
| ほよぶの歌に合わせて跳べた  | 3  |
| 一回も引つかからないでできた | 2  |
| 後あやの廻り足とび      | 1  |
| 廻り足あやとび        | 1  |
| できた            | 1  |
| 促進とび           | 1  |
| 下向きとび          | 1  |
| 片足交差とび         | 1  |
| ハヤブサ           | 1  |
| 前跳び            | 1  |
| 返しとび           | 1  |
| おもしろかった        | 1  |
| はい             | 1  |
| 続けて跳べた         | 1  |
| 交差とび           | 1  |
| 後跳び            | 1  |
| ぼつちし           | 1  |
| ブルートレーン        | 1  |
| あや跳び           | 1  |

④先生が言ってくれたよ

|                |   |
|----------------|---|
| おいしい           | 6 |
| できたね           | 4 |
| 頑張れ            | 4 |
| 頑張ったね          | 2 |
| 凄い             | 1 |
| いい所をいっぱい言ってく   | 1 |
| 疲れないで          | 1 |
| 手に力を入れない       | 1 |
| 無し             | 1 |
| 縄跳びを見よう        | 1 |
| リズムを揃えよう       | 1 |
| 後もう少し          | 1 |
| ポーズがカッコイイ      | 1 |
| 返し跳びの左が上手くなったね | 1 |
| 脇を絞めて          | 1 |
| 低くゆっくりして見よう    | 1 |
| 出来るようになったね     | 1 |
| 大きくジャンプしよう     | 1 |
| 二重跳びは高く跳ぶよ     | 1 |
| 上手いじゃん         | 1 |

②<なかまとび>こんないいとこ見つけたよ

|                  |   |
|------------------|---|
| 順番にまわす           | 7 |
| 後の人と引つかからないでできた  | 3 |
| 大綱の時の跳がよかった      | 2 |
| 大綱のあしを1・2とやった    | 2 |
| 楽しく跳べた           | 2 |
| 大綱               | 2 |
| 息が合っていた          | 2 |
| 見つけたよ            | 2 |
| 続けて跳べた           | 1 |
| チームワークがよかった      | 1 |
| 一人も引つかからないで跳べたよ  | 1 |
| 頑張った             | 1 |
| なし               | 1 |
| リズムをとること         | 1 |
| 一人か回して跳ぶ         | 1 |
| つかえても跳び続けることができた | 1 |
| 帰るときは背ささとかえっていった | 1 |
| 皆で跳べた仲間跳び        | 1 |
| 2人組でやる           | 1 |
| みんな工夫            | 1 |
| まえ跳びで足をグーパーにする   | 1 |
| 全員が跳んでいた         | 1 |

⑤友達と言ってくれたよ

|                |    |
|----------------|----|
| ハヤブサ出来るんだ      | 12 |
| できたじゃん         | 4  |
| 大丈夫            | 2  |
| 後は返しとびだよ       | 2  |
| 凄いな            | 2  |
| こうやってみたら       | 1  |
| かろく跳ぶ          | 1  |
| 背筋をまっすぐ        | 1  |
| なし             | 1  |
| 出来るだけ前に行く      | 1  |
| 交代とびがすごい       | 1  |
| ポーズをもうちょっときっちり | 1  |
| 上手になったね        | 1  |
| 工夫がいっぱいできたね    | 1  |
| 上手             | 1  |
| ちゃんとして         | 1  |
| 頑張れ            | 1  |
| 手首をもっと早く動かして   | 1  |
| 逆回しにしてもいいかも    | 1  |
| きれいに跳んでるね      | 1  |

③今日はこれが楽しかったよ

|                  |   |
|------------------|---|
| ハヤブサが出来たようになったこと | 8 |
| ハヤブサの練習          | 7 |
| 一曲通せたのが楽しかった     | 3 |
| 二重とび             | 2 |
| 仲間跳び             | 2 |
| 大綱               | 1 |
| 一足跳び             | 1 |
| ジャン              | 1 |
| しゃがみとび           | 1 |
| 万歩計を使ったこと        | 1 |
| いいとこもらえた         | 1 |
| 続けてやったこと         | 1 |
| 返しとび             | 1 |
| 向かい合いとび          | 1 |
| 新しい技を考えて挑戦した     | 1 |

## 学習カード集計&lt;2月23日&gt;

## ①発表会ここを頑張ったよ

|                |   |
|----------------|---|
| ・ハヤブサを続ける事     | 7 |
| ・二重とび          | 6 |
| ・突っかかっても頑張った   | 4 |
| ・後二重とび         | 3 |
| ・最初と最後のポーズ     | 2 |
| ・恥ずかしかったけど頑張った | 2 |
| ・駆け足とび         | 2 |
| ・ナシ            | 1 |
| ・一人跳び          | 1 |
| ・皆で力を合わせてがんばった | 1 |
| ・二人交互跳び        | 1 |
| ・笑顔でできた        | 1 |
| ・回すところ         | 1 |
| ・仲間跳び          | 1 |
| ・皆で協力したこと      | 1 |
| ・返しとび          | 1 |
| ・シンクロ跳び        | 1 |
| ・リズムを合わせる      | 1 |
| ・ブルートレイ        | 1 |

## ③今日はこれが楽しかったよ

|                 |   |
|-----------------|---|
| ・ハヤブサが続けて跳べた    | 9 |
| ・シンクロ跳び         | 7 |
| ・発表会頑張った        | 5 |
| ・最後のキメポーズが楽しかった | 4 |
| ・一人跳び           | 2 |
| ・大縄             | 2 |
| ・皆とちゃんと出来た事     | 1 |
| ・無し             | 1 |
| ・仲間跳び           | 1 |
| ・皆で最後の縄跳び       | 1 |
| ・万歩計を使った事       | 1 |
| ・返し跳びを上手く出来た    | 1 |
| ・アップダウン         | 1 |
| ・全部             | 1 |
| ・二重跳び           | 1 |
| ・皆で跳べた事         | 1 |
| ・先生と縄とびが出来たこと   | 1 |

## ②友達が言ってくれたよ

|                  |    |
|------------------|----|
| ・ハヤブサ上手だったね      | 11 |
| ・ハヤブサ出来るようになったね  | 5  |
| ・頑張れ             | 4  |
| ・無し              | 2  |
| ・凄い              | 2  |
| ・頑張ったね           | 2  |
| ・続けて跳ぼう          | 1  |
| ・力を合わせようね        | 1  |
| ・交互に跳ぶの凄いね       | 1  |
| ・一人跳びの時は前に出る     | 1  |
| ・後少しだよ           | 1  |
| ・上手になったね         | 1  |
| ・上手だね            | 1  |
| ・ちゃんとやれ          | 1  |
| ・上手く出来た          | 1  |
| ・最後の時は手わ外側に      | 1  |
| ・何も言ってくれなかった     | 1  |
| ・ポーズはバッチリだね      | 1  |
| ・引っかからないように頑張ってる | 1  |

## 1) 結果

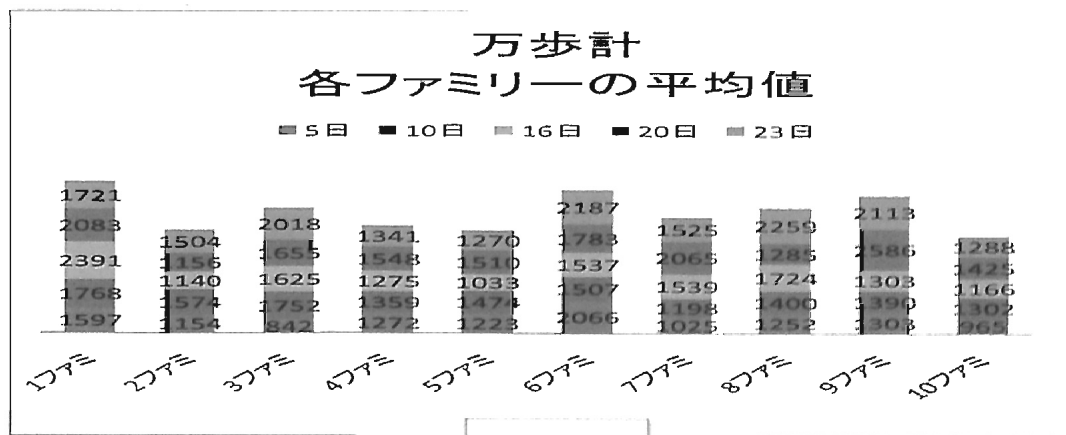
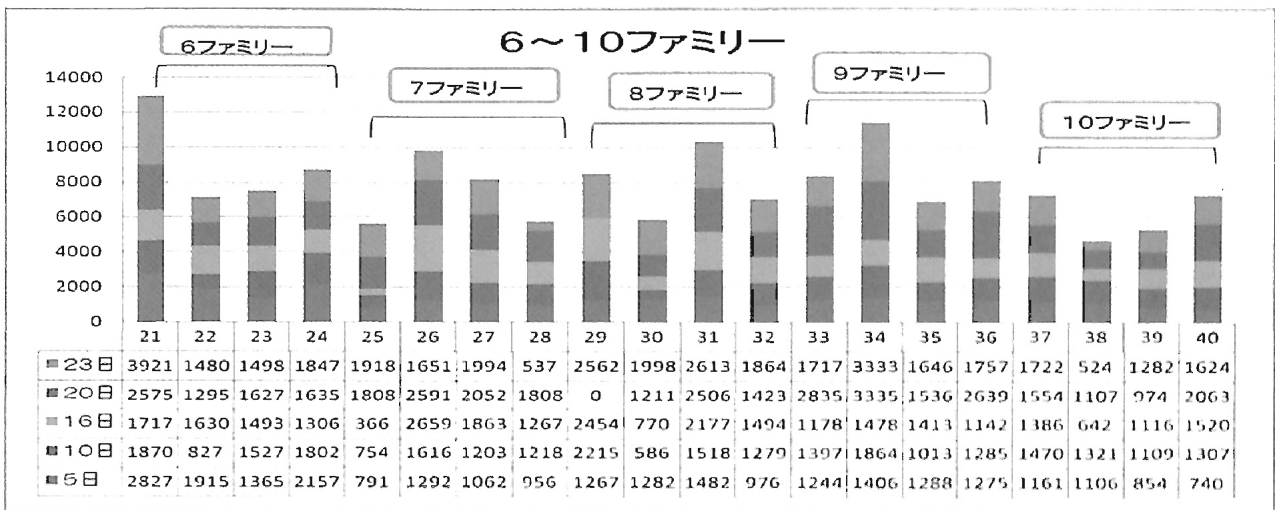
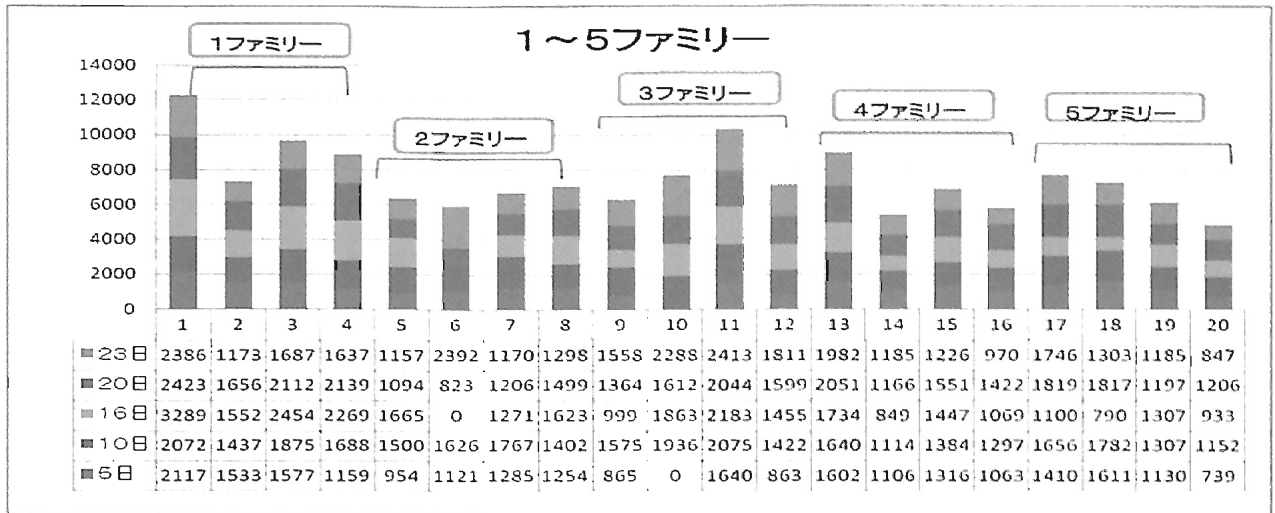
「先生が言ってくれたよ」という項目に関して、なわとび先生が児童にかける言葉かけとして多い言葉は、「上手」「うまい」「頑張れ」「すごい」などの児童を励ましたり、活気づけてあげる言語が多くみられた。一方で、技に関する技術的な言語は少なかった。

## 2) 考察

児童にとっては技術的な言葉かけをしなくても、「上手」「うまい」「頑張れ」「すごい」などの言葉かけでも十分にやる気を引き出したり活気づけることができる効果的な言語であると感じた。しかし、中学校や高校になると技能的な言語が必要になってくると思うので、小学生などまだ体を動かすことを楽しむことが大事な頃にしか通用しないのではないかと考えられる。

## (4) 歩数計

下記のグラフは、5日間の児童40人分の歩数の記録である。ファミリーごとの平均値も示す。全員の平均は1529歩。現在、体づくり運動授業時の歩数平均値は1179歩と言われている<sup>3)</sup>



平均値は1529歩

歩数の結果から見ると児童はよく動いていると捉えられる。歩数計を付けたことによる意欲付けの効果は大きかった。動いた後に必ず歩数を確認したり、「見て見て！」となわとび先生に見せたりする子が多くいた。一方、歩数計の数値を増やそうと、学習とは関係なく動き続ける子がいたのも事実である。リズムなわとびの流れに慣れてくるに従い、無駄な動きは減ってきたと考えられるが、一曲跳び続けるだけでも、ある程度の運動量（歩数）は確保でき、その練習を繰り返すことで歩数の平均値も多かったのではないかと考えられる。



発表会の時に万歩計を気にしている子ども

## IV. 成果と課題

初めての試みで研究としての反省点はいろいろあるが、継続研究への手応えをつかむことができた。

### 1. 成果

#### (1) 楽しく取り組める「体づくり運動」

今回取り組んだ「リズムなわとび」から、音楽も活用し楽しく動き続ける場を作ることで、子どもたちの運動量を確保でき、意欲も高められることが明らかになった。

#### (2) 記録の分析と活用

今回の実践では、学生が中心に実践記録の収録と分析にあたってくれ、普段なかなか難しい授業の分析の機会として現職としては有り難かった。また、学生の勉強としても授業観察、実習も含め有意義だったと言える。

#### (3) 「なわとび先生」が関わる体育学習の効果

子どもたちは、元々からだ（体育）の学習を好む子が多いが、種目によっては苦手意識をもっていたり、意欲を持たなかったりすることもある。今回「なわとび先生」がいる間の学習に対する意欲・関心が常に高い数値を表していたことは、なわとびに苦手意識を持つ子も「やる気」にする可能性があるということと考えられる。

特に、子どもたちは自分のファミリーの「なわとび先生」に愛着を持っていた。学生の感想にも「子どもたちに声をかけるだけでも、喜んでくれて頑張っていた。」とあり、常に身近で見守ってくれる存在の大きさを改めて認識することができた。

### 2. 今後の課題

#### (1) 学生サポーター（なわとび先生）への指導

成果でも述べたように、学習場面にサポーターが入ってくれるだけで、学習効果が上がると考えられるが、やはり事前の準備が不可欠である。学習全体のねらいや指導者の意図をどこまで理解して授業場面に臨めるかも事前の準備にかかっていると感じる。サポーターへの必要十分な指導を明確にしていくことで、効果も倍増すると考える。

#### (2) 教材の開発

今回は、なわとびを中心に「体づくり運動」の授業作りを試みたが、「体づくり運動」の中には様々な種目が取り上げられており、子どもの発達に応じた教材の開発や種目の組み合わせ、指導方法を考えていきたい。

#### (3) 授業の記録方法の改善

体育の実践を分析するために、有効な記録の方法も検討する必要がある。

1) VTR

記憶の新しいうちに、映像を見ながらの振り返りができると望ましい。また現職教員と学生との児童への関わり方の違いを比較しながら明らかにしていけると、よりの確な指導につながるものと考えられる。

また、サポーターとして学生がどのように子どもたちと関わるのかについても理解が十分であったとはいえない。そのような学生に指導者の資質として何を見とらせるか、そのためにどのような指導や準備が必要かということも次回にむけて考えていきたい。

2) ICレコーダー

今回は「なわとび先生」の発問を中心に収録したが、指導の中心である現職教員の発問の収録が必要だった。双方を比べることで、学生の発問との違いを明らかにし、よりよい指導言語を探っていきたい。加えて授業観察者としての大学教員のつぶやきも貴重であることが分かった。

3) 歩数計

今回のデータを基礎データとすると、次回以降のデータと比較が可能になる。実践を繰り返すことで子どもたちの意識づけもできてくると思われる。やたらと足踏みをしたり、走り回って数値を上げようとしていた子の変化も見ていきたい。

## V. 参考・引用文献

- 1) 文部科学省 (2008) 小学校学習指導要領解説 体育編
- 2) 高橋健夫 (2003) 体育授業を観察評価する
- 3) 渡辺敏明 (2006) 小学校体育ジャーナル47

## VI. 謝 辞

本実践研究に際して、共同研究者としてご協力いただいた東海大学の中村なおみ先生、及び実践に参加してくれた東海大学体育学部の学生さんに感謝の意をささげます。この実践に参加してくださった学生さんたちが魅力的な先生として活躍することを願ってやみません。